



マルハニチロ株式会社

2017年9月期連結決算

代表取締役社長 伊藤 滋

2017年11月16日

1. 事業環境

日本経済

- 雇用・所得環境の改善を背景に企業収益は堅調に推移
一方で、
- 人手不足による人件費や物流費の上昇リスクが顕在化
- 将来に対する不安を背景とした節約志向も未だ継続



依然として予断を許さない状況

マルハニチログループ

- 中期4ヵ年経営計画「Challenge toward 2017」の最終年度
- 「持続的成長の実現」と「中長期の企業価値向上」に向けて
 - 完全養殖マグロ事業の拡大
 - グローバル領域における収益拡大
 - 新石巻工場の稼働

成長路線の遂行

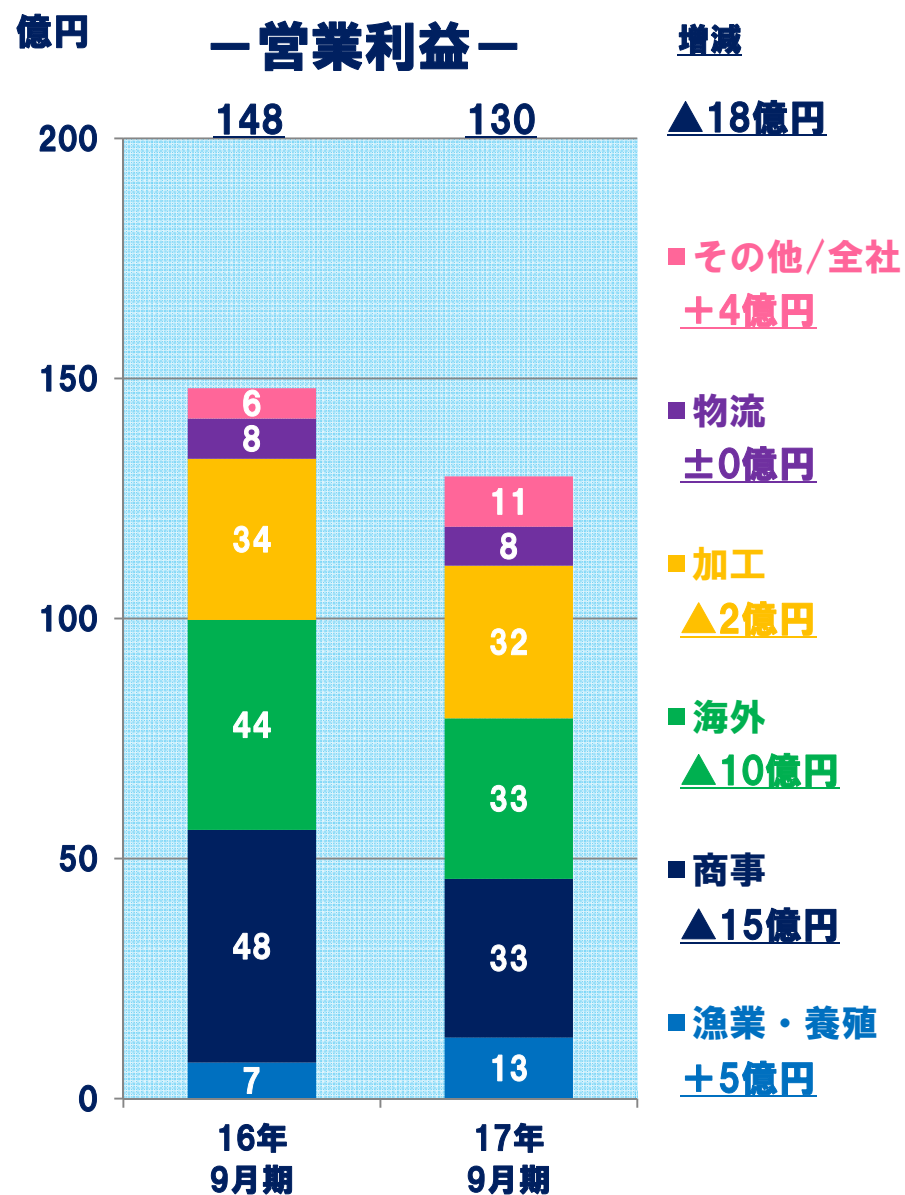
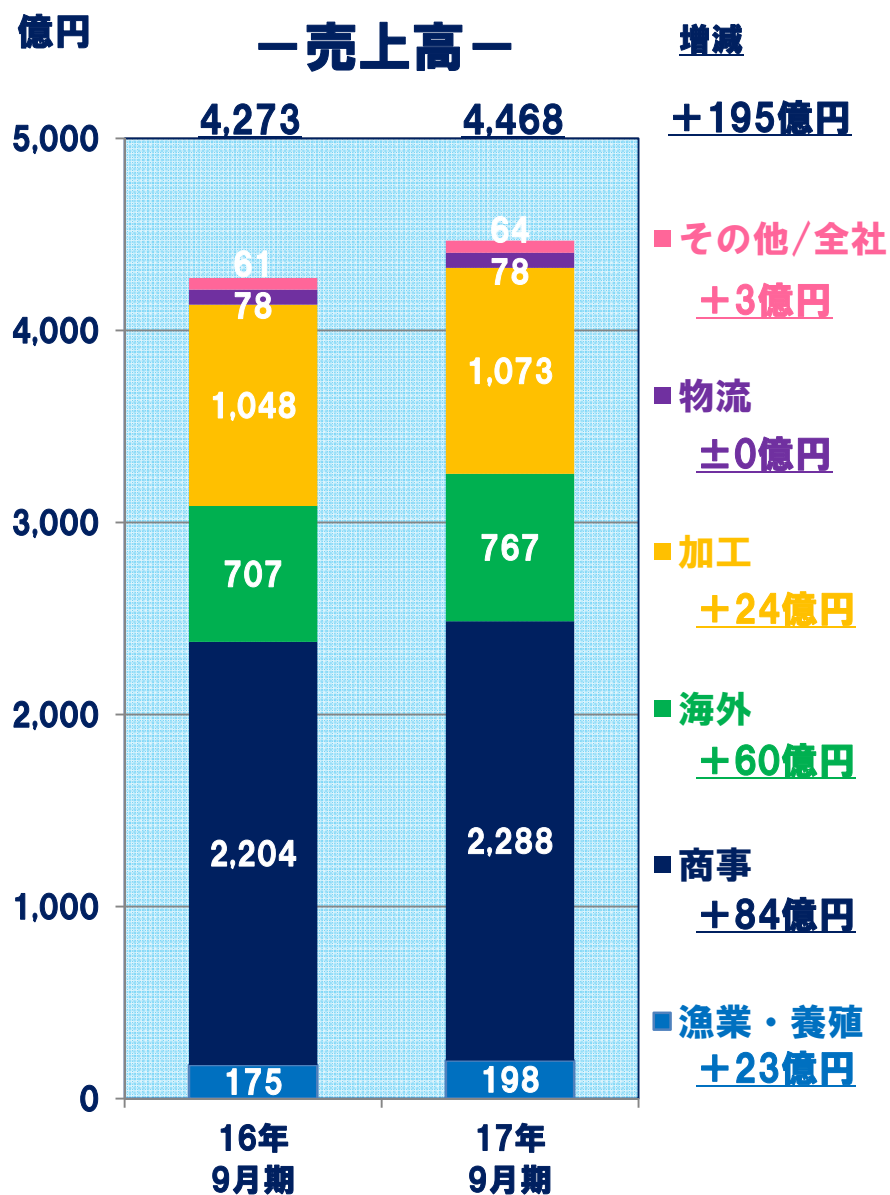
2. 2017年9月期 連結業績サマリー



- ◆ 売上高…195億円の増収となり統合以来最高
- ◆ 営業利益…魚価高・円安等の影響による調達コスト増加で18億円減益
- ◆ 経常利益…為替差損益改善等により13億円の増益で統合以来最高益

(億円)	2017年 9月期	2016年 9月期	増減	前期比
売上高	4,468	4,273	+195	4.6%
営業利益	130	148	▲18	▲12.4%
経常利益	151	138	+13	9.5%
税金等調整前 四半期純利益	145	135	+10	7.2%
四半期純利益 (親会社帰属)	92	88	+3	3.7%
1株当たり四半期純利益	174.01円	167.82円	-	-

3. セグメント別 売上高／営業利益



4. 2018年3月期通期計画に対する進捗

- ◆ 売上高は、今期計画および中期計画最終年の9,000億円対して順調
- ◆ 営業利益、経常利益は中期計画最終年を上回る今期計画に対して順調

(億円)	2017年 9月期 A	2018年 3月期計画 B	進捗率 A/B	【ご参考】 中期計画 C
売上高	4,468	9,000	50%	9,000
営業利益	130	240	54%	200
経常利益	151	250	60%	190
当期純利益 (親会社帰属)	92	135	68%	-

5. セグメント別進捗率

- ◆ 売上高は全体で50%。各セグメントとも堅調
- ◆ 営業利益は漁業・養殖、加工、商事セグメントが好調

(単位: 億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	17年 9月期	18年 3月期計画	対計画 進捗率	17年 9月期	18年 3月期計画	対計画 進捗率
漁業・養殖セグメント	198	365	54%	13	19	68%
商事セグメント	2,288	4,634	49%	33	54	61%
海外セグメント	767	1,524	50%	33	89	37%
加工セグメント	1,073	2,183	49%	32	49	65%
物流セグメント	78	159	49%	8	19	42%
その他	64	135	47%	6	10	60%
全社	-	-	-	4	△ 0	-
合計	4,468	9,000	50%	130	240	54%

6-①. 事業見通し<漁業・養殖セグメント>



【億円】	売上高			営業利益		
	2017年9月期	計画	進捗率	2017年9月期	計画	進捗率
漁業・養殖	198	365	54%	13	19	68%

【事業見通し】

漁業・・・効率化を促進し、収益向上に努めることで堅調に推移する見通し
 養殖・・・クロマグロ中心に年末に向けて販売増、下期も堅調に推移する見通し

<参考>マルハニチログループ養殖クロマグロ出荷状況

	15年度実績	16年度実績	17年度計画	18年度計画
養殖クロマグロ出荷数量	3,200トン	3,400トン	4,000トン	4,400トン
出荷金額	101億円	102億円	113億円	132億円
(うち)完全養殖尾数	4,000尾	3,000尾	5,000尾	10,000尾

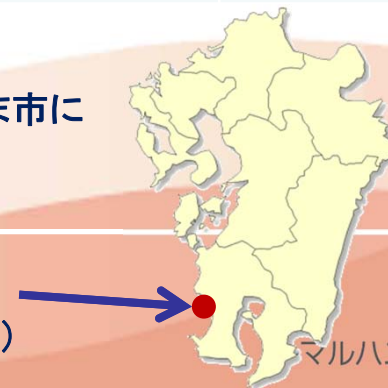


奄美大島の養殖場

☆養殖事業のトピックス☆

- カンパチの完全養殖実現に向け南さつま市に新孵化場を建設(2018年4月稼働予定)
 →人口種苗魚種の拡大へ

新孵化場
(南さつま市)



マルハニチロ株式会社

6-②. 事業見通し<商事セグメント>

【億円】	売上高			営業利益		
	2017年9月期	計画	進捗率	2017年9月期	計画	進捗率
水産商事	396	774	51%	21	30	70%
荷受	1,169	2,523	46%	2	10	20%
畜産商事	295	514	57%	5	8	63%
業務用食品(商事)	428	823	52%	5	6	83%
商事セグメント計	2,288	4,634	49%	33	54	61%

【事業見通し】

- 好調な前期との比較では、調達コスト増の影響で減益も、計画では減益要因織り込み済
- 上期進捗は計画以上であり、通期の計画達成は確実な見通し



6-③. 事業見通し<海外セグメント>

【億円】	売上高			営業利益		
	2017年9月期	年間計画	進捗率	2017年9月期	年間計画	進捗率
海外	252	543	46%	25	66	38%
北米	515	981	52%	8	23	35%
海外セグメント計	767	1,524	50%	33	89	37%

【事業見通し】

- オセアニア・・・オーストラリア漁業会社の取り扱うメロ・エビが漁獲好調、価格も堅調により引き続き好調に推移する見通し
- タイ・・・水産冷凍食品堅調もペットフード事業のカツオ・鶏肉の原料価格高騰→今期は苦戦



【参考】AF社メロ保有枠

	2014年	2015年	2016年	2017年
世界のメロ漁獲枠	24,194トﾝ	26,304トﾝ	26,606トﾝ	26,460トﾝ
CCAMLR オーストラリア枠	2,730トﾝ	4,410トﾝ	3,405トﾝ	3,405トﾝ
AF社保有漁獲枠	—	3,131トﾝ	2,418トﾝ	2,418トﾝ

6-④. 事業見通し<加工セグメント>



【億円】	売上高			営業利益		
	2017年9月期	年間計画	進捗率	2017年9月期	年間計画	進捗率
家庭用冷凍食品	305	602	51%	8	10	80%
家庭用加工食品	247	510	48%	8	11	73%
業務用食品(加工)	493	1,012	49%	10	20	50%
化成	28	59	47%	6	8	75%
加工セグメント計	1,073	2,183	49%	32	49	65%

【事業見通し】

- 家庭用冷凍食品: 米飯類、グルタン類等主食系商品の販売が引続き好調、CM投入効果やアクリブランド回復もあり計画達成に向けて順調に推移
- 家庭用加工食品: 缶詰事業...漁獲好調な魚種を使用した商品に注力
デザート事業...CVS向け提案・量販向けの販促を底上げ
魚肉ソーセージ事業...引続き重点企業への販促強化
ロングライフチルド食品事業...メニュー拡充での販売増、製造原価改善を実施



10



社

7. 事業見通し<課題事業の取組み>

◆ 課題事業の上期営業利益は19億円の改善

課題事業	17年3月期 営業利益	17年9月期 営業利益	改善額
① 北米鮭鱈事業	▲7億円	▲4億円	3億円
② アクリ冷凍食品事業	▲5億円	±0億円	5億円
③ 魚肉ソーセージ事業	▲3億円	1億円	4億円
④ デザート事業	▲2億円	1億円	3億円
⑤ ロングライフチルド'食品事業	▲7億円	▲3億円	4億円
合計	▲24億円	▲5億円	19億円

【ご参考】

18年3月期 営業利益計画
5
▲4
0
0
▲1
0



19億円の大幅な改善

課題事業
トータルで「0」に

参考資料 ユニット別損益・進捗率



(単位:億円)

セグメント	ユニット	売上高					営業利益				
		17年 9月期	16年 9月期	増減	18年 3月期計画	対計画 進捗率	17年 9月期	16年 9月期	増減	18年 3月期計画	対計画 進捗率
漁業・養殖	漁業・養殖	198	175	23	365	54%	13	7	5	19	68%
商事	水産商事	396	385	11	774	51%	21	35	△ 14	30	70%
	荷受	1,169	1,168	2	2,523	46%	2	2	1	10	20%
	畜産商事	295	238	57	514	57%	5	6	△ 1	8	63%
	業務用食品(商事)	428	413	15	823	52%	5	6	△ 1	6	83%
商事セグメント小計		2,288	2,204	84	4,634	49%	33	48	△ 15	54	61%
海外	海外	252	230	22	543	46%	25	28	△ 3	66	38%
	北米	515	478	37	981	52%	8	16	△ 8	23	35%
海外セグメント小計		767	707	60	1,524	50%	33	44	△ 10	89	37%
加工	家庭用冷凍食品	305	292	13	602	51%	8	11	△ 3	10	80%
	家庭用加工食品	247	245	2	510	48%	8	5	3	11	73%
	業務用食品(加工)	493	481	12	1,012	49%	10	11	△ 1	20	50%
	化成	28	30	△ 2	59	47%	6	6	△ 0	8	75%
加工セグメント小計		1,073	1,048	24	2,183	49%	32	34	△ 2	49	65%
物流	物流	78	78	0	159	49%	8	8	△ 0	19	42%
その他		64	61	3	135	47%	6	5	1	10	60%
全社		-	-	-	-	-	4	1	3	△ 0	-
合計		4,468	4,273	195	9,000	50%	130	148	△ 18	240	54%
業務用食品ユニット計		921	893	27	1,835	50%	15	17	△ 2	25	60%

マルハニチロ株式会社

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他本書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します